

事業所職員向け 令和3年度 児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	今後の取り組み
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	%	環境に合わせて子どもの人数や職員の位置、人数を確認しながら対応している 広い空間が確保されている	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが集中して遊んだり、取り組んだりできるように、環境を整えていきます。 整理整頓については、構造化を行い誰もが片づけをしやすい空間作りを推進していきます。 引き続き、コロナ対策を念頭におきながら館内の清掃を行っています。
	2 職員の配置数は適切であるか	100%	%	基準上の職員数以上の人員を配置している	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	%	掃除や落ちている物には気をつけている。必要のない物は片付けをして活動をするようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	86%	14%	棚などの中が整理されていないことがあるので、片付けていきたい 食事の部屋から見える景色が刺激になって食事に集中しにくいことがある。また棚があるため登ってしまう。 コロナ禍なので、特に清掃には心掛けている	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	%	個別支援計画の策定会議等、一人一人の育てていきたいところを全員で考える機会があった。 毎日、終礼で振り返りを行っている	<ul style="list-style-type: none"> コロナ等の状況を見ながら外部からの研修や視察の受け入れを行い、意見を頂きながら資質向上に努めています。またオンライン研修等、外部の研修にも参加をしています。 可能な限り保護者からの意見を取り入れながら、改善を行っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	%	可能な限り保護者からの意見を取り入れながら、改善を行っていきたい	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	%	事業所のホームページ及び掲示板等に掲示している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	%	外部からの研修や実習を受け入れ、感想や評価をいただいているが、コロナのため回数は減っている	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	%	内部研修を行っている 法人が開催する研修に参加している オンライン研修に参加する機会があった	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	%	保護者や職員から聞き取りを行っている 園の先生からの情報も参考になっている	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きチームとして子どもたちにより良い支援が提供できるよう、職員間の情報共有の仕組みの見直しを適宜行っていきます。ICTを活用することで、クラス毎の話し合いの時間をより増やしていくことや、話し合った内容が共通理解のもとで支援できるよう情報共有の円滑化を行っていきます。朝礼の仕組みの見直しも行い、支援開始前の打ち合わせ時間も多く確保していけるように改善を行っていきます。 個別支援計画については、児童発達支援管理責任者を中心に引き続きチームで見直しや検討を行い、子ども一人ひとりに合った計画作成を行っていきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	86%	14%	検査結果や聞き取りを参考に支援を行っている。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	%	ガイドラインを参考にしつつ、保護者にも支援者にもわかりやすい計画の仕様に変更を行っていく段階にある	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	86%	14%	全員で確認し共通理解のもとで行っている。 非常勤職員への周知をもっと徹底していきたい	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	%	クラス単位で考えながら全体からの意見も参考に立案している	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	%	子どもたちの様子を見ながら適宜内容の見直しを行っている	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	100%	%	個別場面と集団場面のそれぞれを想定しながら、計画作成を行っている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	71%	29%	朝礼等で行っているが、十分に時間が確保しにくい	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	%	毎日終礼を行っている。クラス毎の反省を全体で共有することができている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	%	毎日記録の記入をしている。振り返りの時に参考になっている。	
20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	%	半年毎に見直しを行っている		
21 相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	%	児童発達支援管理責任者だけでなく、担任も参加できる時には参加するようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会に参加をしています。児童発達支援センターとしての立場から意見等を積極的に発信していきます。 	
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	%	行政機関や保健師といつでも連絡の取り合える関係ができています。 教育委員会とも連携をしている		

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	%	%	受け入れ実績がないため評価できず	<p>・地域の保育所、幼稚園等との交流については、併行通園児が多いため子ども同士の直接的な交流企画は行っていませんが、ご希望される場合には個別に対応を行います。保育所等訪問を行い、なかよしひろばと地域の関係を引き続き深めていきたいと思えます。特に就学前のお子さんについては、保護者や園と意見交換を行いながら、就学に向けたサポートを行います。</p> <p>・保護者様との情報交換については面談やお電話等対応をしましたが、コドモンの運用も開始したので、情報交換、発信のツールとして積極的に活用を行ってまいります。</p>
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	%	%	同上	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	%	会議を行ったり、訪問をしたりして情報交換を行っている。コロナのため訪問回数は減っている。 医療機関を受診する際には、必ず情報提供書の作成を行うようにしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	%	会議等に出席し情報提供を行っている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	%	地域の関係事業所と連絡を取り合ったり、連携して取り組む関係性ができている 合同勉強会なども行っていきたい	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、子どもと活動する機会があるか	71%	29%	併行通園している児童が多いため、必要な児童には個別対応を行っている	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	86%	14%	自立支援協議会に参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	%	定期的に面談を行っている。 おたよりを発行している。 電話で情報交換や相談対応をしている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	86%	14%	臨床心理士を中心に、親グループで情報交換をする機会を毎週設けている	
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	%	
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	%	面談時に保護者に計画内容の説明をして、同意を得ている	
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	%	必要に応じて電話相談や面談の機会を設けている。 気軽に連絡が取り合えるようにICTを導入し、保護者との連絡手段を増やしている	
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	71%	29%	コロナ感染防止のため、開催することが難しかった	
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	%	児童発達支援管理責任者や担任が窓口となって相談対応を行っている。	
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	%	なかよしひろばの広報誌を定期的に発行している コドモンを導入し連絡が取れる手段を増やした	
38		個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	%	重要書類は鍵のかかる棚に保管している	
39		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	%	必要に応じて視覚的な情報提示を行っている	
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	71%	29%	コロナ禍のため開催が難しかった	
非常時等の対応		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	%	定期的に避難訓練を実施している。 保護者への全体周知にはICTを活用していきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	%	毎月1回の避難訓練を実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	%	利用開始前のアセスメントの段階で確認を行っている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	%	医師の指示書に基づいて対応をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	%	ヒヤリハットがあった場合には作成し全体周知をすることで再発防止に努めている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	%	年に1回研修に参加している。倫理綱領を毎朝唱和している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	%	安全面の配慮事項として計画書に具体的な対応方法を記載しています。	